



# ひなた新聞 19号



## ●腰越子ども会館・子どもの家がオープン

耐震性に問題があり、建て替えを行ってまいりました腰越子ども会館・子どもの家が、昨年12月25日にオープンしました。こしごえ子どもの家では、利用定員が53人→85人に増員され、プレイルーム等からはオープン当日、子供達の歓声があがっていました。



## ●てつなく腰越保育室がオープン

1月12日に目白山下駅の敷地内に小規模保育施設てつなく腰越保育室がオープンしました。定員は0～2歳児の16人(今年度は0歳児クラス(4人)と1歳児クラス(6人)受付)。腰越地域は待機児童が多いため、解消に向けて施設が開園されたこととなり大変嬉しく思います。



## 鎌倉市議会議員



## ひなた慎吾

活動レポート



1983年6月9日 生まれ (32歳)

モンタナ幼稚園→腰越小学校

→腰越中学校→鎌倉高校→日本大学卒業

IT企業へ就職後、2013年29歳で鎌倉市議会議員初当選。

観光厚生常任委員会委員・議会広報委員会委員長。腰越在住。

## ●日本遺産に申請へ

鎌倉市は「鎌倉市歴史的風致維持向上計画」を策定しており、これをベースにストーリーをつくり、「日本遺産(※)」へ申請することになりました。平成27年度に日本遺産に認定されたのは18件で、2020年までに100件程度認定される予定です。認定されれば、鎌倉のさらなる魅力の向上をもたらすと共に、補助金の交付によりガイドランス機能の強化や環境整備など観光客の受入れ態勢を整えることができます。

(※)日本遺産：地域の歴史的な魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを日本遺産として文化庁が認定するものです。ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。《-文化庁より-》

## グリーン&ガーテニング大作戦

毎月第3土曜日の7時30分～8時30分

腰越駅集合(雨天中止)

腰越駅周辺・腰越海岸の清掃と雑草の手入れを行います。終了後、意見交換会も行っております。お時間の許す限り、お気軽にご参加ください。

ごみを拾い、雑草や砂を除去



まもなく3年!  
これからも  
続けてまいります



☆スケジュール☆

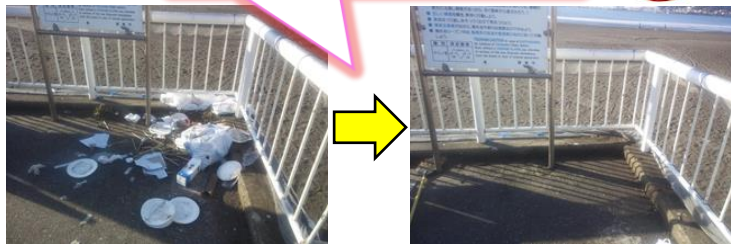
第35回:2月20日

第36回:3月19日

第37回:4月16日

第38回:5月21日

:



住所：鎌倉市腰越 3-23-7 連絡先：0467-32-5889

ホームページ：<http://www.hinata-kamakura.com/>

ブログ：<http://ameblo.jp/hinata-shingo/> フェイスブック：日向慎吾

メール：[hinata.shingo@gmail.com](mailto:hinata.shingo@gmail.com) ツイッター：@HinataShingo



討議資料

## ●戸別収集モデル地区、2月末まで

市は平成30年10月までに戸別収集全市実施を目指す方針を示しており、12月定例会において1月～3月までモデル地区の戸別収集を継続するための収集運搬業務に係る経費について増額補正予算案を提出しました。しかしながら、2月まで戸別収集を継続し、3月からはクリーンステーション収集に戻すようにする修正案が総務常任委員会で提出され、本会議で賛成多数により修正案が可決されました。

我々、鎌倉夢プロジェクトの会は、平成28年4月からの戸別収集実施に向けて、修正案に反対をいたしました。修正案が可決されたことにより、4月からの戸別収集実施が困難な状況となりました。

### ・市が予定していたスケジュール

	27年度		28年度		29年度		30年度	
	1月～3月		4月～3月		4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月
モデル地区	戸別収集継続		戸別収集1品目先行実施		戸別収集実施 (モデル地区エリア+α)			
第一地区					戸別収集実施			
第二地区							戸別収集実施	
第三地区								戸別収集実施

### ・12月定例会において修正された結果

	27年度		28年度		29年度		30年度	
	1月～2月	3月	4月～3月		4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月
モデル地区	戸別収集継続	CS(※)移行	未定					
第一地区								
第二地区								
第三地区								

※ CS：クリーンステーション収集

## ●平成27年度海水浴場の開設結果について

平成27年度の海水浴客数は65万6,800人となり、昨年度の92万7,200人と比べて、29.1%減少しました。海水浴場ごとに比較しますと、由比ガ浜は33.7%減少、材木座は18.8%減少でしたが、腰越は46.1%増加となり、平成26年度より規制が厳しくなったにもかかわらず、腰越海水浴場は客数が大幅に増えた結果となりました。

私も現場に足を運び改めて思ったことは、3つの海水浴場にはそれぞれ特徴があり、由比ガ浜や材木座は、若い人たちが多く、特に由比ガ浜は、夏の海の定番のようなイメージが確立しています。その点、腰越海水浴場は年齢層の幅が広いので、子供だけでも安心して利用できる海の家の出店や遊具等を置いてファミリー向けの海水浴場にしていくなど、海水浴場ごとの特徴を生かす考えが必要です。

また、苦情件数が約3分の1になり、風紀については改善されてきました。その大きな要因は砂浜での飲酒を禁止にしたことだと考えられます。私は海水浴場の健全化に向けての取り組みで、砂浜での飲酒の規制も検討すべきと申し上げてきましたが、平成27年度は条例で禁止となり、その結果、大量のお酒を持ち込み、音楽をかけるなど、砂浜で宴会するような状況がなくなり、風紀を乱す人達が減りました。

しかし、砂浜のごみ箱をみるとお酒のビンやカンが多く捨てられておりましたので、まだまだ課題があると認識しています。

今夏に向けて、ルール徹底や、より一層の周知をはかるとともに、市内3か所の海水浴場以外の七里ガ浜や稲村ヶ崎など、規制のない場所での飲酒や入れ墨の露出などが増えることがないようにしていただきたいと思います。

